

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 015	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 統合環境制御技術に対応する施設トマト促成長期どり栽培における優良品種の選定	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 普及指導部では、現在、施設トマトをモデルとして、中小規模の施設における、収量・品質の向上等を目指した統合環境制御技術の導入に取り組んでいる。そこで、今年度より統合環境制御技術による栽培管理技術の確立に向けて現地調査及び実証を進めており、実需者ニーズに対応した、収量・品質（糖度、秀品率等）が安定しているトマトの生産を目指して、品種の選定が課題の一つとなっている。特に、統合環境制御技術導入農家の主流となっている促成長期どりの作型においては、近年、各種苗メーカーから新品種が相次いで発売されており、選定するのが困難な状況となっている。 そこで、台木との組み合わせも含め、統合環境制御技術に対応する促成長期どりに適した優良品種の選定に取り組んでいただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部 野菜作物研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) ICTを活用した温室内環境制御技術の開発及び経営モデルの構築 トマト栽培における効率的環境制御法の開発			
対応の内容等 平成28年度から上記試験研究課題の中で、CO ₂ 施用、加湿等の統合環境制御下のトマト養液・長期多段栽培において品種比較試験を実施しています。品種比較試験では、穂木だけでなく、台木との組合せも検討し、品種の選定を行います。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			